

平成 30 年 2 月 2 日 (金)

中央学校給食センター

【献立名】 鬼退治ごはん 牛乳 いわしのかば焼き
食べて菜のツナサラダ 根菜汁



【ひとロメモ】

節分の行事食を知ろう

(食事と文化)

2月3日は節分です。節分とは、季節が変わる前の日のことをいいます。まだまだ寒いですが、暦の上では、2月4日から春になります。

昔から節分の日、わざわいを追い払い、家の中や自分の心の中に福を呼び込むという願いをこめて、豆まきをし、家の入り口にイワシの頭と、ヒイラギの枝をさしていました。全国では地域によって、いろいろと変わった行事もあるそうです。どの行事も、寒くて暗い、鬼でも出て来そうな冬を過ごしたあとで、明るい春を待つ、人々の心を表した行事といえそうです。

今日は節分に合わせて、麦ごはん炒めた大豆を入れた「鬼退治ごはん」と、「いわしのかば焼き」の献立です。しっかり食べて、心の中に福を呼び込みましょう。



平成 30 年 2 月 2 日 (金) 第二学校給食センター

【献立名】

おにたいじごはん 牛乳 いわしのかば焼き風
野菜のごまドレッシングあえ 根菜汁



【ひと口メモ】

「節分」について

(食事と文化)

明日、2月3日は「節分」ですね。季節の変わり目をあらわしており、冬から春になる節目です。節分には、食べものを使った行事がいくつかあります。

まず、豆まきです。病気や災いなどを「鬼」に見立て、豆まきで追い払い、福を呼びこむためにします。また、炒った大豆を、自分の年の数食べると、病気にならず無事に過ごせるともいわれています。

次に、恵方巻きという太巻きずしを、縁起のよい方角「恵方」に向けて願いごとをしながらまるがじりすると良いといわれています。巻きずしには「福を呼びこむ」、まるごと食べるのには「縁を切らない」という願いがあります。

それから、魔よけに「^{ひいらぎいわし}終鰯」というものや、節分の日にイワシを食べる地域もあります。

行事食にこめられた思いを大切に、これからも受け継いでいきたいですね。

平成 30 年 2 月 2 日 (金)

飯山学校給食センター

【献立名】

鬼退治ごはん 牛乳 いわしの蒲焼き風
食べて菜のツナサラダ 根菜汁

《今日の丸亀産の食材》
米・チンゲンサイ・里いも・食べて菜・
葉ねぎ・れんこん・大根



【ひと口メモ】

節分の行事食

節分とは、季節の変わり目のことで、季節の変わり目は体調を崩しやすいので、病気などを「鬼」に見立て、豆まきをします。豆まきでは、炒った豆を使い、豆まきの後は、自分の年の数食べると、病気にならず無事に過ごせるともいわれています。

また、恵方巻きという太巻き寿司を、縁起のよい方角「恵方」に向けて願い事をしながらまがじりすると良いといわれています。まるごと食べるのには「縁を切らない」という意味があります。そして、鬼はいわしのにおいや焼く時の煙が嫌いと言われており、節分の日にイワシを食べる地域もあります。

